

## 安全データシート

作成日 2016年6月1日

改訂日 2017年4月25日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : アスファルト乳剤  
会社名 : 墨東化成工業株式会社  
所在地 : 〒130-0025 東京都墨田区千歳一丁目8番14号  
電話番号 : 03-3635-1111 (代表)  
FAX 番号 : 03-3635-1119

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

引火性液体	: 区分外
急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性 (吸入/ガス)	: 分類対象外
急性毒性 (吸入/蒸気)	: 区分外
急性毒性 (吸入/ミスト・粉塵)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷/ 眼刺激性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分2
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性 (急性)	: 区分3
水生環境有害性 (慢性)	: 分類できない

## GHS ラベル要素

### シンボル



### 注意喚起語

#### 警告

### 危険有害性情報

- ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・ 水生生物に有害

### 注意書き

#### 安全対策

- ・ 成分の基本はアスファルトと水であるが、界面活性剤、安定剤、酸等を含有しているために、皮膚に付着したり、目に入った場合には、速やかな対応が必要である。
- ・ 製品自体に可燃性はないが、水分蒸発後の乾燥物は、可燃性（石油アスファルト）を有する。
- ・ 使用前に安全データシート（SDS）を参照して取扱うこと。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 本来の用途以外に使用しないこと。
- ・ 保護眼鏡と耐溶剤手袋を使用すること。
- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。

### 対応

- ・ 皮膚についた場合はかぶれることがあるので、速やかに石けん水で完全に洗い流すこと。皮膚の外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当を受けること。
- ・ 目に入った場合は直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに医師の手当を受けること。
- ・ ばく露または、ばく露の懸念がある場合：医師の手当を受けること。

### 保管

- ・ 変質（変形）を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて 30℃以下の冷暗所で保管する。
- ・ 密栓して凍結しないように保管すること。
- ・ 施錠して保管すること。

### 廃棄

- ・ 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

### 重要な徴候

- ・ 現在のところ有用な情報なし。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : アスファルト乳剤

成分及び含有量	官報公示整理番号 (化審法)	CASNo.	安衛法 57 条の 2 通知対象物	含有量
石油アスファルト	9-1720	8052-42-4	鉱油	50~52%

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

- ・蒸気を吸入して不快、頭痛等がある場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

- ・皮膚にふれた部分を速やかに水または石鹼にて洗浄し、付着した製品を完全に洗い流す。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は速やかに医師の手当を受ける。

#### 目に入った場合

- ・目に入った場合は、直ちに洗浄を始め、清浄な水で 15 分間以上洗浄後、眼科医の手当を受けること。
- ・洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと障害を生ずる恐れがある。

#### 飲み込んだ場合

- ・水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、多量の水を飲ませて胃内でうすめて吐かせ、速やかに医師の手当を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

- ・泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂

#### 使ってはならない消火剤

- ・棒状の水は、火災を拡大し危険な場合がある。

#### 特定の消火方法

- ・可燃性のものを周囲から取り除く。
- ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- ・消火作業は風上から行う。

#### 消火を行う者の保護具

- ・消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具及び保護眼鏡を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

- ・ 付着物を速やかにふき取り、水で十分流し去る。
- ・ 作業に際しては、防じんマスク、保護手袋、保護眼鏡などを着用する。

### 環境に対する注意事項

- ・ 公共用水域に流さないよう留意する。
- ・ 拡散を防ぐため、土のう等で拡散を防止し、セメント、砂等を散布する。
- ・ 水中に漏出したときには、油吸着マット等で拡散を防止する。

### 除去方法

- ・ 大量流出の場合は、土砂あるいは油吸着マットなどで流れを止め、バキューム等で吸い上げる。
- ・ 少量の場合は、土砂、セメントなどに混ぜてモルタル状として凝固回収する。

### 二次災害の防止策

- ・ 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- ・ 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの処置を行い立ち入りを禁止する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

- ・ 目、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具（8. 項参照）を着用する。
- ・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・ 高温物、火炎を避ける。
- ・ 凍結させると製品としての機能が損なわれるため、凍結させない。
- ・ 皮膜防止のため、容器を密封して保管する。

#### 局所排気、全体換気

- ・ 取り扱う場合は、局所排気又は全体換気のある場所で行う。

#### 安全取扱い注意事項

- ・ 製品の約 50%が水分である為、水と反応する物質を近くに配置しない。

### 保管

#### 適切な保管条件

- ・ 変質（変形）を防止するため、凍結、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて 30℃以下の冷暗所で保管する。
- ・ 使用後は空気に触れないよう密閉し、長期間の保管を避けるとともに異物の混入にも注意する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

#### 安全な容器包装材料

- ・ 製品使用の容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

- ・室内で取り扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置することが好ましい。

### 保護具

#### 呼吸器用の保護具

- ・防じんマスク等

#### 手の保護具

- ・不浸透性ゴム手袋（耐油性であることが好ましい）

#### 目の保護具

- ・保護眼鏡等

#### 皮膚及び身体の保護具

- ・長袖作業着、安全靴

### 適切な衛生対策

- ・作業中は飲食、喫煙しない。
- ・作業後は、よく手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	: 液体
色	: 茶褐色
臭い	: データなし
pH値	: 2～5
沸点	: 約 100℃（水と同程度）
融点	: 0℃（水と同程度）
引火点	: 約 300℃（水が完全に蒸発した場合）
発火点	: 約 480℃（水が完全に蒸発した場合）
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 約 1.02（25℃）
溶解性	: 水と任意の比率で混合分散する。
オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: 約 100℃

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

- ・通常の使用において安定である。

### 危険有害反応可能性

- ・データなし

### 避けるべき条件

- ・凍結させないこと。

### 混蝕危険物質

- ・生石灰、金属ナトリウム等の水と反応する物質。

### 危険有害な分解生成物

- ・データなし

## 11. 有害性情報

### 化学名

### 急性毒性

アスファルト

経口ラット LD50 5000mg/kg 以上

経皮ウサギ LD50 2000mg/kg 以上

### 製品に関する有害性情報

#### 急性毒性

- ・データなし

#### 刺激性

- ・データなし

#### 感作作用、発がん性、変異原生、生殖毒性、催奇形性

- ・データなし

#### 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）

- ・データなし

#### 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）

- ・データなし

#### 吸引性呼吸器有害性

- ・データなし

## 12. 環境影響情報

### 生体毒性

- ・データなし

### 残留性／分解性

- ・データなし

### 生物蓄積性

- ・データなし

### 土壌中の移動性

- ・データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

- ・セメント等で固化処理した後、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託し、関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

#### 汚染容器・包装の廃棄方法

- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託し、関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。
国連分類	: 該当せず
国連番号	: 該当せず
品名	: 該当せず
容器等級	: 該当せず
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を 確実にを行う。

### 15. 適用法令

化学物質管理促進法	: 該当せず
消防法	: 該当せず
労働安全衛生法	: 通知対象物 鉱油
海洋汚染防止法	: 油分排出規制
下水道法	: 鉱油類排出規制
水質汚濁防止法	: 油分排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制

### 16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意してください。

この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために、必要かつ注意すべき事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としています。

本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証をするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。